

編集後記

今号は企画展「旅する楽器——南アジア、弦の響き」と連動した特集である。本展示は本来2018年10月に開催予定であったが、震災の影響で今年の2月21日(木)の開幕となった。『季刊民族学』の方では、関連特集がすでに10月に刊行されているのはそのためである。企画展の実行委員の方々と楽器との個人的かかわりにも踏み込んだ本号と異なり、楽器についてのより詳細な紹介がなされている。関心のある読者は、そちらもあわせてご覧いただきたい。

ところで私事であるが4歳の息子はインターネットの動画サイトで好きな音楽が流れるのを「見る」と(この子には音楽は普通に「見る」ものであることに純粋に驚きを感じる)、映像に合わせて団扇でエアギターをするので、小生は知りもしない手の向きを正したりしている。ご丁寧にどこで見たのか舌を出すことまでである。ロックよりカントリーを聴かせて(もとい「見せて」)いたつもりなのだが……。本企画展で南アジアの本物の楽器を見たとき息子にどんなケミストリーが生まれるのか、今から非常に楽しみにしている。(丹羽典生)

●表紙：上から順に

1. コンテンポラリー・イラン・サントゥールの巨匠 アルダヴァーン・カムカール氏 (撮影：谷正人、テヘラン、2018年)
2. 女性初の本格的サロッド奏者 シャラン・ラーニー (1929～2008)
 [出典：Sharan Rani (1992), *The Divine Sarod*, pp.44 (Plate 25)]
3. インド西部ラージャスターン州の撥弦楽器サーランギー (撮影：Daniel M. Neuman, 1989年)

次号の予告

特集

「子ども／おもちゃの博覧会」(仮)

みんぱくをもっと楽しみたい方のために
国立民族学博物館友の会のご案内

友の会は、みんぱくの活動を支援し、博物館を楽しく積極的に活用するためにつくられました。毎月『月刊みんぱく』をお届けするほか、さまざまなサービスをご用意しております。

維持会員・正会員

『月刊みんぱく』の送付／友の会機関誌『季刊民族学』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加／研究者同行の国内外研修旅行への参加 など

ミュージアム会員

『月刊みんぱく』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加 など

繰り返し入館できる**みんぱくフリーパス**や、学校・学部単位で利用できる**キャンパスメンバーズ**など各種会員種別もご紹介します。目的にあわせてご利用ください。

詳細は、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
 (電話 06-6877-8893 / 平日9:00～17:00)



月刊みんぱく 2019年2月号

第43巻第2号通巻第497号 2019年2月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
 電話 06-6876-2151

発行人 園田直子

編集委員 丹羽典生(編集長) 寺村裕史 三島禎子

南真木人 山中由里子 吉岡乾

デザイン 宮谷一 長岡綾子

制作・協力 一般財団法人 千里文化財団

印刷 毎日新聞社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<https://www.facebook.com/MINPAKUofficial>

みんぱくツイッター

<https://twitter.com/MINPAKUofficial>

みんぱくインスタグラム

<https://www.instagram.com/MINPAKUofficial/>

みんぱくYouTube

<https://www.youtube.com/user/MINPAKUofficial>

